

3代目の挑戦！受け継いだのは「何もしないことが失敗」

社名を変えない理由とは？

中川工業所・中川社長

(株)中川工業所(中川雅照社長)は兵庫県尼崎市にある運送会社だ。中川雅照社長の祖父が昭和19年(1944年)に取引先企業の工場内における鋳物の製造請負業で創業したが、社名は現在も創業時のままの名前を使っている。

原点を忘れないために社名は変えない、という中川社長



倉庫の建材がトラックに積み込まれていく

管、物流センターの管理、物流加工、ピッキングに力を入れることにした。

中川社長は、「A↓Bに運ぶ。これを持続可能にするには、次の製造につながるように前工程をしつかり整えておくことが重要と考えた」と話す。

現在、建材輸送を中心に展開するが、2m以上の荷物をトラックに積み合わせ配送。住宅建築に使われる、壁、窓、サッシ、屋根、瓦、プレ



製造請け負いの仕事は多く、事業を成長させてきたが、国道43号線の道路公害問題から工場の撤退、統廃合、海外への移転により製造請

け負いの仕事が激減していった。

しかし、同社では製造したものをトラックで運んでいたことから、1989年に緑ナンバー取得

し、運送業に進出することになる。

中川社長は大学在学中、父親が急逝(きゅうせい)し、急きょ引き継ぎもな

いまま経営を引き継ぐこととなった。右も左もまったくわからない状況であつたが、持ち前のバイタリティーで事業を前進させる。

社員はもともと製造請け負いのノウハウを持つていたことから運送業にも活かさないかと考え、運送の前工程である保



会社の原点は製造請け負いにある

カット材、エクステリア商品、床材、ALC(軽量気泡コンクリート)などを積み合わせて、現場に持つて行く配送サービスを展開。

トラックは30台を保有し、専属車は40台。パートナー企業は8割を占める。1日あたり約200台規模で配車を行い、1日3回転と稼働率を高める。100人の従業員を抱え、倉庫で50人が働く。

現在、製造請け負いは、10人が建材の一部、金属加工の一部を行っており、売り上げ比率は小さいものの、創業時の事業として現在も継続している。

5年前からは建築資材ではない荷物を扱っていた。中川社長は、「建材もまだまだ扱えるものはある。今あるものを固めて次に挑戦していきたい。祖父や父から受け継いだのは『何もしないことが失敗』ということ。挑戦し続けるということ。建築・建材商品以外の商材についても力を入れたい」と話す。

また社名については、「製造請け負いの比率は0.5だが、大切な0.5。それから我が社は始まった。製造請け負いは始まって運送、倉庫とつながっている。創業の原点を忘れないために、社名は変えない」と強調する。

協定会 近ト定時総会



平島会長

「黄金のペットボトル」 注意喚起

近畿トラック協会は6月23日、神戸市内のホテルで第14回定時総会を開催し、令和7年度の事業報告・計算書類報告を承認した。

事業報告では奈良県トラック協会・京都府トラック協会などが実施した、トラックステーションや高速道路のSA・PAにおける清掃活動について報告が行われたが、平島竜二会長は

「清掃活動については、尿入りの『黄金のペットボトル』が数多く見られた。ドライバーの地位向上」と言いながらも、モラルに反したドライバ

と。近畿二府四県からは、こういったドライバーを出さないよう、協力をお願いしたい」と述べた。

協定会 ト重量 大重総会



西光部会長

西光部会長が再選

大阪府トラック協会重量部会は6月23日に大阪市内で定時総会を開催した。

西光彰男部会長は冒頭のあいさつで、皆様もご承知の通り、本年2月から不安定な中東情勢となつて以降、現在社会のあらゆる面で石油に頼っている中、

自動車だけでなく各製品の調達状況に影響が及んでいます。日本の石油タンカー船が通過したという安堵する一報はありますが、引き続き、中東情勢の動向は注視する必要があります。

また、国土交通省では特殊車両の指導と述べた。

任期満了に伴う役員改選では、部会長に西光氏(西光運輸(株)、副部会長に宮地高昭氏、橋本貞利氏、黒岩寛氏、石坂俊樹氏がそれぞれ選出された。

また、国土交通省では特殊車両の指導と述べた。

任期満了に伴う役員改選では、部会長に西光氏(西光運輸(株)、副部会長に宮地高昭氏、橋本貞利氏、黒岩寛氏、石坂俊樹氏がそれぞれ選出された。

また、国土交通省では特殊車両の指導と述べた。